

Maruki Suma: An Artist from Age 73

丸木スマ展

73歳からのアーティスト



スマおばあちゃんは、
美術界の超新人になった。

2026

9.11

金|Fri



11.23

月・祝|Mon (National Holiday)

会期中に2点の作品の展示替えがあります。
2 artworks are rotating during this exhibition.

前期 (1st Half): 9/11(金|Fri)~10/18(日|Sun)

後期 (2nd Half): 10/20(火|Tue)~11/23(月・祝|Mon)

切り抜き画像

赤い花(丸の字の中央): 丸木スマ《種の実》1955 原爆の図丸木美術館蔵
赤い花(丸の字の右): 丸木スマ《おんどりめんどり》1955 原爆の図丸木美術館蔵
丸木スマ《蔵先》1952 原爆の図丸木美術館蔵
うきぎ(木とマの字付近): 丸木スマ《野》1950 原爆の図丸木美術館蔵
赤い花(マの字の上部): 丸木スマ《グリア》1952 原爆の図丸木美術館蔵
犬: 丸木スマ《わたしとマ》1951 原爆の図丸木美術館蔵
その他: 丸木スマ《響》1955 原爆の図丸木美術館蔵

丸木スマの作品 原爆の図丸木美術館蔵



開場時間: 9:30~17:00 (入場は16:30まで) 休館日: 月曜日(ただし9月21日~23日、10月12日、11月23日は開館、9月24日、10月13日は休館) 会場: 滋賀県立美術館 展示室3
観覧料: 一般1,200円(1,000円)・高大生800円(600円)・小中生600円(450円) ※同時開催中の常設展(展示室1、2)もご覧いただけます。 ※()内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳等をお持ちの方とその介助者は無料。 主催: 滋賀県立美術館、京都新聞 特別協力: 原爆の図丸木美術館
監修: 岡村幸宣(原爆の図丸木美術館 専務理事・館長代理)、永井明生(キュレーター・美術研究者) 企画: 山田創(滋賀県立美術館 学芸員)

Opening hours: 9:30~17:00 (Last admission at 16:30) Closed: We are closed on Mondays. (Except: open on Sep. 21~23, Oct. 12, Nov. 23 / closed on Sep. 24, Oct. 13)

Venue: Gallery 3, Shiga Museum of Art Admission (Group rates in parentheses): Adults 1,200 yen (1,000 yen); High school and university students 800 yen (600 yen);

Elementary and junior high school students 600 yen (450 yen) *Admission includes access to the permanent exhibition (Gallery 1 and 2).

*Admission is free for visitors who present a Physical Disability Certificate, Mental Disability Certificate, or Rehabilitation Certificate, and for all accompanying caregivers.

Organized by: Shiga Museum of Art and The Kyoto Shimibun With the special cooperation of: Maruki Gallery for the Hiroshima Panels

Supervised by: Okamura Yukinori (Managing Director, Maruki Gallery for the Hiroshima Panels); Nagai Akio (Curator, Art Researcher)

Curated by: Yamada So (Assistant Curator, Shiga Museum of Art)

つくれるコーナーや
キッズガイドもあり



Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大堂町1740-1
Tel 077-543-2111(電話受付時間8:30~17:15)
Fax 077-543-2170



ウェブサイト



子どもたちもたのしめる美術館

おしゃべりしても大丈夫。建物内にキッズスペース、
外には遊具のある「わんぱく原っぱ」も。

丸

木スマ(1875-1956)は、広島県生まれ。1948年、家族のすすめで、73歳から絵を描き始めました。身近な自然や生き物を描き、1950年以降、女流画家協会展や再興日本美術院展などに入選。専門的な美術教育を受けていない高齢の女性が、異例の画壇デビューを飾ったことは、当時の美術界に大きな衝撃を与えました。

華々しい快挙を成し遂げたスマですが、そのわずか数年前、70歳のときに広島に原爆が投下され、スマは爆心地から2.5キロメートル

ルで被爆しました。奇跡的に生き延びますが、その翌年には夫と死別するなど、過酷な人生の局面を迎えます。そして終戦から3年後、スマは絵筆をとり、81歳で没するまでの間、ひたすらに描き続けたのです。

本展では、初期から晩年までの作品や関係資料を、約130点のボリュームで紹介しします。自由奔放でユーモラス、ときに目がくらむほど色鮮やか——多くの失われた命を目の当たりにした彼女が描いた、草、花、生き物、そして人々の姿。生命力に溢れた絵の数々は、複雑な現代社会を生きる私たちへの力強いエールとなることでしょう。

原爆を経験したスマさんは、73歳で絵筆をとった

かんざし
スマの代表作《簪》／



花が、鳥が、生命が、
あふれ出す！

原爆の記憶



カラフルなカッパたちは踊る

脱力的なかわいさに
いやされる！?



1.丸木スマ《簪》1955 原爆の図丸木美術館蔵 2.丸木スマ《ピカド》創作年不詳 個人蔵 3.丸木スマ《カッパの踊り》創作年不詳 個人蔵 4.丸木スマ《めし》1950 原爆の図丸木美術館蔵

作品を見たあとは、
いっそ自分でも作っちゃおう！
作品をまねて描いても自由に描いてもOK！
スマさんのように、思いきり創作を楽しめるコーナーがあります。



小さなお子さんがいる方、
障害があるなどの理由で来館を迷っている方へ

当館では、展示室でもしんと静かにする必要はなく、おしゃべりしながら過ごしていただけます。目が見えない、見えづらいなどの理由でサポートや展示解説をご希望される場合や、その他、来館にあたっての不安がある場合は、「お問い合わせ」からご連絡ください。事前の情報提供や、当日のサポートのご希望に、可能な範囲で対応します。

無料託児サービス(事前申込制・先着順)

育児中の方にも安心して美術に触れていただけるよう、専門のシッターによる無料の託児サービスを実施いたします。日程や予約申込方法など詳しいことは、右の2次元コードからご確認ください(対象：生後6ヶ月～就学前)。



みゅーじあむ★でびゅー

美術館に初めて来られた方に「みゅーじあむ★でびゅー」認定証をプレゼントしています。ご希望の方は総合受付(チケットカウンター)でお申し出ください。

滋賀県美メンバーズ

年額2,500円(一般)で何度でも観覧いただけるお得な年間パス(滋賀県立美術館メンバーズ)入会受付中

関連イベント案内

参加は、当館ウェブサイトからお申し込みください。諸事情により、イベント内容の変更や中止となる場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。



1 本展監修者による講演会① 「みんなスマが好きだった」

スマの絵画がどのように社会に知られていったのか、歴史をたどり解説します。

日時：9月26日(土)14:00-15:30
定員：100名/要事前申込/抽選/無料
講師：岡村幸宣(原爆の図丸木美術館 専務理事・館長代理)

3 本展担当学芸員による ギャラリートーク

展示室を回りながら、
学芸員が見どころを解説します。

日時：9月19日(土)10:00 ※無料託児サービス実施日
10月15日(木)14:00、11月14日(土)14:00
各回定員：20名程度/当日先着/要観覧料

所要時間
約1時間

2 本展監修者による講演会② 「丸木スマの描く『いのち』」

スマ作品の特徴や魅力について、
広島との関わりを当てながら紹介します。

日時：10月10日(土)10:30-12:00 ※無料託児サービス実施日
定員：100名/要事前申込/抽選/無料
講師：永井明生(キュレーター・美術研究者)

4 びじゅつかんを、たんけんだ！ (子ども向けギャラリートーク)

学芸員とお話しながら展覧会を楽しみましょう。
はじめて美術館を訪れるお子さんにもおすすめです。

日時：9月19日(土)14:00、11月7日(土)10:00
各回定員：30名程度/当日先着/要観覧料

所要時間
約1時間

アクセス

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1

●公共交通機関をご利用の場合：JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田駅」(京都駅から普通電車で約17分)(京阪電車は「京阪石山」駅からJR乗り換え)下車「大病院」行きのバスに乗り換える(約10分)
「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」下車(便によって停車するバス停が異なります)、美術館までは徒歩約5分

●お車をご利用の場合：新名神高速道路「草津田上インター」から約5分、びわこ文化公園駐車場(無料・3か所)利用、美術館までは徒歩約5分
なるべく公共交通機関をご利用ください。
※高齢や障害などで歩行が困難な方がいらっしゃる場合は、びわこ文化公園東駐車場の有人ゲートからお車を乗り入れて、美術館までお越しいただけます。

お問い合わせ

滋賀県立美術館(電話受付時間 8:30-17:15)
TEL 077-543-2111 FAX 077-543-2170 E-mail: info@shigamuseum.jp



次回
展覧会
予告
佐川晃司展(仮称)
2027年1月15日(金)～3月22日(月・振休)

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館